



1. スクラップのリサイクル事業を通じてSDGs目標達成を目指す。
2. 廃棄物の収集・運搬から処理・解体までを手がける職人集団。
3. 事務や経営企画などでは女性社員が中心となって活躍している。
4. 回収した鉄・非鉄金属はここで選別したのち、加工・再生される。

改革を試みた。そうした取り組みが効果を発揮し、人が少しずつ定着するようになった。平成20年（2008年）の北京五輪を機に資源価格相場が高騰し、社員が驚くようなボーナスを支払えるほどの好景氣も迎えた。だがリーマンショックにより相場は急落。一転、業績は悪化をたどる。そこから脱却できたのは、

大きな転機を迎えた平成29年（2017年）のときであった。以前より、さまざまな業界団体に入会していた山下さんは、幅広いネットワークを構築。頼まれた仕事は、損得勘定抜きにすべて全力で応える姿勢が功を奏し、どんな仕事も舞い込んできた。また、かつてSONYの井深・盛田社長の元で秘書を務めた西

順一郎氏との出会いも大きかった。同氏の研究所で学んだ経営理論を生かし、「自分も、社員も、地域もすべてにとつてよりよいことを」という意識で業務や社員教育を徹底。毎月1回の社員経営勉強会の開催、社員の自律を養う朝礼での発信や、「まずやる！」など年間テーマの揭示、コミュニケーションを最小限にするための「ラインワークス」などのツール活用により、社員一人ひとりの意識向上と社内の人間関係の円滑化を実現した。最近では九州で初めて最新のスクラップ処理機械「ニューギロ」を導入。作業効率が大幅にアップした。設備が充実すれば社員の余力が増え、効率が上がり、利益が上がります。いい循環ができる。そうして無駄は極力省くが、ひとつの仕事が完了する度に電話で顧客の満足度をヒアリングするという手間は省かない。そんな山下商店に、笑顔と利益が徐々に増えていった。

会社は「みんな仲がいい」、「任せられるので、自分に自信がつく」、「小さい社長がいっぱいいる」ところだと社員たち。「社員の安心を守り、社会に貢献できる強い会社をつくりたい」という山下さんのもと、同社はこれからも、さらなる発展に向かって進み続ける。

株式会社 山下商店

大分県速見郡日出町大神1675-1
tel.0977-72-2727

<https://www.yamashita-shoten.com/>



日出町の

新たな取り組みに「フォーカス！」 チャレンジ企業レポート



処理能力が高い最新のスクラップ処理機械「ニューギロ」。



父親から事業を受け継いだ3代目の山下唱徳（まさのり）代表取締役。

会社も社員も地域も 「全員経営でよりよく」を目指して

昭和20年（1945年）創業の同社は、もともとは自動車の解体事業から始まった会社。現在は金属スクラップ事業をメインに手がけ、5年前に事業継承した山下唱徳さんが代表取締役を務めている。山下さんはかつて、東京のベンチャー企業に勤務。20代にしてその会社の支社長に就任するなど、社会的にも経済的にも都会で「旗揚げた人物だ。本人いわく「天の声」を聞き30歳で帰郷。父の会社を手伝い始めると、昔ながらのまの経営を目の当たりにして危機感を覚えた。3Kそのものの状況に、社員を採用してもすぐに退職してしまう。「このままではいけない」と、作業のIT化を進めたり、飲み会を企画して社内のコミュニケーションの充実をはかったりと

Report
File.2

株式会社 山下商店
代表：山下 唱徳さん

日出町で金属スクラップや自動車のリサイクル、廃棄物処理、各種解体などの事業を展開する『山下商店』。力強いリーダーシップで社員を鼓舞する山下社長のもと、自らの仕事に誇りとやりがい、明るい未来を見いだすことができる会社だ。